

優雅なおひなさまが町を彩る

◎四万十街道ひなまつり・鬼北桃祭



3月20日から4月4日までの間、日吉地区で「四万十街道ひなまつり」、近永地区で「鬼北桃祭」が開催され、さまざまなひな人形が町を彩りました。

明星草庵では、日吉盆栽会が毎年恒例となった座敷雛を展示。今年は富母里地区をテーマに制作し、富母里小学校の校舎や地藏山、薬師堂などを再現していました。

鬼北桃祭では、開催日の初日である20日、近永駅周辺賑わい創出イベントも開催され、北宇和高校吹奏楽部の演奏やポニーとのふれあい体験などが行われました。また、歴史的価値の高い建物である旧旭郵便局の局舎が新たに展示場所に加わり、商店街の至るところに展示されたおひなさまが、訪れた人たちの心を和ませていました。

快適な運動環境を整備

◎鬼北総合公園体育館リニューアルオープン



4月3日、鬼北総合公園体育館で「リニューアルオープン式典」が行われました。

鬼北総合公園体育館は、除湿型放射冷暖房機およびスポットエアコンが新たに整備され、快適な環境で運動ができるようになりました。式典では、兵頭町長および鬼北町スポーツ協会の岩本渉会長があいさつ。その後、参加したスポーツ少年団の子どもたちに紅白餅とおかしを配りました。

スポーツ少年団は、団員数が年々減少しており、参加者を募集しています。

期待と不安を胸に初登校

◎町内小中学校入学式



4月8日、町内小学校および日吉中学校の入学式が、4月9日、広見中学校の入学式が行われました。

今年度は小学校61人（近永小36人、好藤小9人、愛治小1人、三島小6人、泉小4人、日吉小5人）、中学校57人（広見中53人、日吉中4人）が入学。新型コロナウイルス感染対策のため、来賓を制限し、内容を縮小して式が実施されました。新1年生は、保護者や在校生に見守られる中入場し、新たな学校生活をスタートさせていました。